

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

特定非営利活動法人棚田 LOVERS

取組概要

取組名 : 自然共生サイトを核とする棚田再生・担い手育成・地域循環共生モデル
実施地域 : 兵庫県
アクティビティ種別 : ②地域の自然資源の維持・向上
取組形態 : 直接的貢献
取組実施日・期間 : 2007 年 5 月～

取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題

兵庫県神崎郡市川町上牛尾では、棚田保全技術の継承機会不足、担い手・指導者育成の仕組み不足、棚田の価値を伝えて地域外から人材・資金を呼び込む仕組みの不足、地域の多様な主体をつなぐ調整体制不足、といった課題がある。棚田は米を生産するだけでなく、地域の景観や生物多様性を支え、様々な体験を通じて人々をつなぐ、地域の暮らし・文化・交流の基盤となることから、棚田の耕作放棄の防止・耕作放棄田の再生と生物多様性の向上、さらに地域経済と暮らしを支える持続可能な地域循環共生圏の形成を実現する。

インプット

- ✓ 専任職員、農家、自然体験・生物多様性・教育・組織運営等の専門人材
- ✓ 自然共生サイトと再生棚田（地元住民提供）、古民家（古民家しろめて）、農機具・体験備品
- ✓ 棚田保全、環境教育、イベント運営、生物調査の実践知

アクティビティ

- ✓ 棚田エコ学園を年 12 回実施
- ✓ 耕作放棄田の再生と継続管理
- ✓ 自然体験・生き物観察会をそれぞれ年 12 回実施
- ✓ 住民・参加者・専門家との連携により棚田子育てフェス等を年 1 回開催
- ✓ 自治体・地域団体等と連携した他地域の候補地調査、関係者協議、導入計画・KPI 設定、伴走支援及び成果報告（候補地 2 地域・関係機関 3 団体）

今後の展望

- ✓ 2026 年度中に市川町モデルの導入手順、役割分担、必要資源、成果指標を整理する。以後、自治体、地域金融機関等と連携し、候補地域の課題診断、関係者合意形成、現地人材育成、実証、評価までを伴走する。導入先ごとに地域組織が運営主体となり、参加費・体験事業収入・棚田米等の販売・寄付・企業協賛・行政事業を組み合わせ、補助金依存を抑えた自走化を図る。